

最後に、私の思いの一端を述べさせていただきます。子供たちにとっての学びやすさというのは、必ずしもデジタルであることとイコールではないというふうに思っています。

教育とは、本来、便利さよりも深さが求められる営みで、その媒体としての教材の在り方というのは、極めて本質的な課題だというふうに思います。

教育の目的は、単に情報を早く処理するということではなくて、時間をかけて思考し、理解し、納得して学ぶという過程を通じて子供たちの理性や感性を豊かに育てることにあるというふうに思っています。さらに突き詰めて言えば、実社会に子供たちが出たときに、仕事ができ、社会的にも尊敬を受けるような人間、あるいは自分が今まで受けたご恩を他の人々に返していけるような人間を育てるということも教育の大事な部分だというふうに思います。

一般質問の冒頭で申したように、本市としても国の制度に単に追従するだけではなくて、現場の声や子供の学習実態に基づいて、紙の教科書の意義や効果を再評価して、地域の教育方針としての明確な姿勢を打ち出すことが必要であるというふうに考えます。

糸魚川市の子供たちにとって、本当に望ましい教育環境の在り方を主体的に検討すべき時期に来ているというふうに思います。教育のＩＣＴ化という名目が、実は教育の根幹を見失わせることになっていないのか、改めて原点に立ち返って、糸魚川市の子供たちにとって最もよい学びの環境とは何か、丁寧な検討と方針の構築を強く求めます。デジタルとアナログ、それぞれのよさを生かし、バランスを取りながら、よりよい教育が糸魚川市の子供たちに施されることをお願いして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、和泉議員の一般質問が終了いたしました。

２時５５分まで、暫時休憩といたします。

〈午後２時４０分 休憩〉

〈午後２時５５分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、利根川 正議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。〔６番 利根川 正君登壇〕

○６番（利根川 正君）

利根川 正です。

１回目の質問をお願いします。

１、猛暑、渇水による稲作への影響と農業政策について。

６月からの高温と雨不足により、稲作への影響が出ており、令和５年度と同じ１等米比率の低下と収穫量の減少が心配されます。農家も対策を実施しましたが、自然災害とも言える気象条件には

かなわず、特に中山間地域の小規模農家では、水不足によるひび割れにより稲が枯れている状態です。今後の対応を伺います。

また、国において農業政策の方針転換が打ち出されており、米の生産を取り巻く環境が大きく変わろうとしています、これらを踏まえて伺います。

(1) この夏の高温と渇水による農作物への被害状況を伺います。

(2) 今後、雨により、佐渡市のように水田のひび割れからの田畑の崩れが心配されますが、どのような対策を実施するか伺います。

(3) 近年高温による稲作への影響が多くなり、新たな品種への切替え等の動きについて伺います。

(4) 農業政策について、8月5日政府は、今後、増産にかじを切る方針を打ち出しましたが、糸魚川市はどのような方向でいくのか伺います。

(5) 食料安全保障、販売価格の引下げ、農家の所得補償、後継者問題等、安定した形で進んでもらいたい、糸魚川市の考えを伺います。

2、（仮称）駅北子育て支援複合施設整備予定地の既存ビル解体について。

(1) 旧東北電力ビル、旧宮田ビルの2棟の解体工事の入札が6度目も不調に終わったことについて、市はどのように捉えているか伺います。

(2) 6月定例会でも解体費に関して積算根拠が極めて不透明であること、事前に解体設計を行い、複数の業者から見積りを取り、競争性を生み、妥当性を確保することが大切と訴えましたが、実施されたか伺います。

(3) 解体工事入札不調により、タイムスケジュール的に間に合うのか、今後の日程はどう考えているか伺います。

(4) 解体後の利活用案を市民から多く意見をいただくために、公式LINEなどを活用して意見を聞くなど、検討してはどうか伺います。

(5) 6月11日付で協定を締結した4事業者に対して、丁寧な謝罪が行われたか、協定解除の申入れを受け入れられたか、また、違約金の財政負担について伺います。

3、防災力について。

(1) 防災訓練を重ね、日頃から防災力のレベルを上げていくことが大切と考えますが、糸魚川市はどのように進めていくか伺います。

(2) 糸魚川市において、避難所のトイレ数と被災者1人当たりの移住面積が政府の示す基準を満たしておらず、早急に対応が必要と思いますが、考えを伺います。

(3) 岩手の山林火災から半年がたち、平成以降で最大規模となりました。今後、山林火災も災害リスクと捉え進めるべきだと思います。市の考えを伺います。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

利根川議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、8 月 20 日時点で、水稻の被害状況は、5 ヘクタールと把握しております。

2 点目につきましては、農地に被害を受けた農家を対象に、復旧工事にかかる補助制度を設け、周知しております。

3 点目につきましては、高温耐性品種の作付面積が増加していると捉えております。

4 点目につきましては、当市の水稲作付面積は年々減少していることから、法人等への集積・集約及び担い手の確保・育成に努め、農地の維持を図ってまいります。

5 点目につきましては、国・県の動向に注視し、必要な支援を検討してまいります。

2 番目の 1 点目につきましては、現在継続中の入札案件のため詳しくはお答えできませんが、例えば、設計内容の考え方の違いなど、その都度、原因を想定し、対応する中で実施してきたものがあります。

2 点目につきましては、複数の市内事業者からの参考見積りを基に設計書を作成した上で、一般競争入札を行ったところであり、競争性と妥当性を勘案して実施しております。

3 点目につきましては、広場整備も含めて現在検討中であり、国の補助が受けられるよう努めてまいります。

4 点目につきましては、3 地域の区長並びに自治会代表者との懇談や、複合施設見直しにおける懇談会の中で意見を伺っております。

また、10 月以降の地区懇談会において、広く市民のご意見をお聴きしたいと考えております。

5 点目につきましては、ご理解をいただき、解約協議に応じていただいております。協議がまとまりましたら市議会に報告し、解約金等の費用負担についてご審議いただく予定としております。

3 番目の 1 点目につきましては、防災訓練や出前講座により、災害に対する防災意識を高め、行動につなげることが大切であり、引き続き市民の防災力向上に努めてまいります。

2 点目につきましては、国のガイドラインに基づくトイレ数や居住面積の確保に向けて、居住といますか、移住と先ほどおっしゃっていましたが、面積の確保に向けて取り組んでまいります。

3 点目につきましては、日頃から防火啓発を実施しており、強風や乾燥など、気象状況によりパトロールの強化を図っております。

また、林野火災は、地域防災計画に予防計画及び応急対策を規定しております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もございますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

では、2回目の質問をお願いします。

1番の猛暑、渇水による対策。

農作物の被害ですね、この夏、上越地域、糸魚川を含んで、ほとんど雨が降らず、水不足となりました。稲作はもちろん、畑作にも大きなダメージを与えています。花の水やりも大変だったと思います。

その中、糸魚川市の代表作物、越の丸茄子、エダマメ、梨の新碧の状況はいかがだったでしょうか。

また、今回、海水温の上昇がかなり高くなっております。水産物の漁獲高についても伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

越の丸茄子につきましては、高温によりまして一部艶がなくなるなどの影響が出ているようですが、生産量には大きな影響はなく、全体的には昨年に引き続きまして、高値で取引されているというふう聞いております。エダマメ、日本梨の新碧につきましても、今のところ大きな影響は出ていないというふう聞いております。

また、海面漁業につきましても、1回の出漁での漁獲高には大きな影響はないというふうにお聞きいたしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

（1）の水田の渇水被害ですね、ひび割れの被害のほか、除草剤をまく時期、また、防虫剤をまく時期に、いずれも水がなく、雑草被害、害虫のカメムシ等、被害が発生したところがありました。この2年前と同じような状況ですが、今回、状況は把握しているのでしょうか、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

例年どおり、現地の調査を行っております。2年前の渇水時につきましても、カメムシの被害状況というのは平年並みだったというふう聞いております。今年につきましても、6月に一時的に多少多かった時期がございますが、今のところ、その後、現在に至っては、平年並みに落ち着いているというふう聞いております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

今回、水不足ということで、こういうふう被害が発生する本になっておりますので、水を何とか確保しなければいけないというふうに思っております。

次に、こしいぶき、コシヒカリの刈取りは、この8月末からスタートしております。こしいぶき、コシヒカリの品質検査は、この1週間、2週間後に検査が行われますが、それよりも先に収穫された柏崎の葉月みのりは、1回目の検査で二等米の白未熟粒が確認されて、21トン全部、等級落ちしております。

また、上越のつきあかりは、一等米と二等米が半々ずつで、猛暑の影響、渇水から粒が小さく、量的に少ないと予想されております。今後、こしいぶき、コシヒカリの、昨日までの状況について、もし分かればお伺いしたいというふうに思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

市内のJAの検査場では、昨日、9月4日から検査が始まっております。初日は早生品種で、暑い夏でも品質が落ちにくいとされております高温耐性品種のこしいぶき、新潟135号、ともに全量一等米となっております。今後、出荷されますコシヒカリなどにつきましても、一等米比率が高くなることを期待したいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

全量一等米のほう、あればいいというふうに考えております。これまでの渇水による水不足の苦労が、これで報われるようにしてもらいたいというふうに思っております。

次に、渇水対策で水の確保が一番大切と思っております。本流から、大川から水路に取り入れるとき、上流から下流まで大体5キロほどあります。上流から順次、田んぼに水を入れていくので、最後の田んぼが、水がない、全くないという状況が今回、何度か見られました。その水田は、間違いなくひび割れて発生しておりますし、対策として、水路の途中に井戸を掘って設置してもらおう。夏場は、それを使って用水として使う。それから冬場は、消雪パイプとして使うような仕組みが考えられないかというふうに思っております。新潟県でも、県のほうでも井戸の設置補助を打ち出しておりますし、ぜひとも今後、市としても何らかの対策で県と一緒に進めてもらいたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

県のほうでも、井戸の掘削につきまして補助制度を立ち上げまして、支援しておるところでございますが、やはり水源となる水脈の確保ですとか、受益面積等の実施要件等ございますが、今後も農業者の意向を確認しまして、地域に適した有効な事業の推進に努めてまいりたいというふうを考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

ぜひとも土地の持ち主、また受益者負担になる可能性もありますけど、その辺、打合せしてもらって、よろしくお願いします。

（２）の中山間地のひび割れ対策ですが、市から７月１８日に農地渇水対策、それから８月２５日に干ばつ災害復旧事業対策を出してもらいました。来季に向けて、重機を入れた復旧をしてもらいたいと思います。

また、斜面において、畦畔の斜面において、ひび割れ等の点検が必要だと思います。実施をお願いしたいと思います。

農地の効率性、安全確保のためにも、中山間地域の今回被害の多かった地域を重点地域として、最優先に圃場整備を進めてもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

田んぼのひび割れ被害につきましては、重機によります復旧工事も含めまして支援してまいります。この夏は雨が非常に少なかったということから、田んぼののり面等にもひび割れが発生しているケースがあるかと思います。ひび割れ被害も含めまして、圃場内で異常が発見されましたら、これまで同様、また、市のほうへ報告していただきたいと思いますし、圃場整備の件につきましては、やはり地域の皆様の、やはり全員の同意というのが必要になってきますので、また地域の中でお話ししていただきまして、必要に応じまして、市のほうも参加していただきまして、よりよい整備について一緒に検討してまいりたいというふう考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

次の3番、新しい品種ですが、高温に強い新之助は、毎年平均して収穫量があり、耐久性もあります。

しかし、このコシヒカリに関しては、高温に弱く、安定しておりません。2023年度より、高温耐性コシヒカリBLという品種を改良を進めておりますが、今年どのような状況か伺いたいと思います。

また、上越で生産している、つきあかりは、この糸魚川での生産が向いているのかどうか、その辺もお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

県では、令和9年度までに高温耐性品種のコシヒカリBLの候補系統を開発できるよう事業を進めておりまして、おおむね計画どおりに進んでおるといふふうにお聞きいたしております。

また、糸魚川市内での、つきあかりの生産の適正についてでございますが、コシヒカリの栽培と同等程度であるといふふうにごっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

ぜひとも品種の耐久性のコシヒカリ、何とぞ情報のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

次に、4番、政府は今後、増産にかじを切る方針に固めました。糸魚川市では、耕作面積が減少するばかりで、今後、増産は難しいと思っております。

その中、昨年、糸魚川市のふるさと納税、米のふるさと納税が不足するという事態になっております。今年の新米の返礼品の確保と在庫、ふるさと納税の在庫は大丈夫でしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

大西企画定住課長。〔企画定住課長 大西 学君登壇〕

○企画定住課長（大西 学君）

お答えいたします。

新米の令和7年度産につきましては、収穫期を迎えたものの、なかなか価格が決まらず、申込みをストップしておりましたが、価格を決定した業者も出始めたことから、この9月に入り、受付を開始しております。

また、新米の返礼品確保につきましては、生産者の方と調整を行っておりますが、やはり収量が明確にならないと、どの程度出荷いただけるか不透明な状況でございます。今後、収量が見えた段

階で、取扱い量を調整してまいります。

なお、大きな作付面積を持つ納入業者とのお話の中では、今現在、この夏の高温・渇水による大きな影響はないというふうに聞いております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

ふるさと納税、財政面でも市のほうに貢献しておりますので、よろしくお願いします。

また、ふるさと納税を増やす方法として、ほかの市を見ますと、米の定期便が人気で、年間の予定が立ち、在庫が読めるため、ぜひとも糸魚川市でも米の定期便を進めてもらいたいというふうに思っております。よろしくお願いします。

次に、（５）の、これは市長にお伺いしたいんですが、食料安全保障の面から、自国で食料を調達できるようにすること、また、主食である米の生産を安定させ、余った米を輸出に回し、災害時には、その輸出品を使う仕組みが確保できればと考えております。

今回、政府が備蓄米を市場に出回るまで時間がかかり過ぎました。今回の備蓄米の放出について、市長はどのように考えているか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

国が行った備蓄米については、それぞれの地域地域によって状況が違う中で、それに対して必要な地域については備蓄米の割当てが効果的にできたと思います。さらに、そうじゃなくてもきちっとした需要と供給が賄われるところについては、備蓄米に頼らずともできたということで、若干、いわゆる最終的な形として、その備蓄米の放出量と需要量がかみ合わなかったという点もありますけれども、やっぱり災害時における、今回は災害だというふうに仮定しますと、その方策が、いわゆる効果的な部分もあったんではないかと思います。

ただ、これが引き続き続くとなると、それ相応の、また違う部分でのギャップが出てくると思いますので、それについては、やっぱりまず、糸魚川市としてそういうものがあるものなのかどうか、そういうものを検討から始めて、国の動向を確認していかなければいけないと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

備蓄米に関しては、よい点、悪い点が見えてきたというふうに思っております。かなり時間がかかってる、それを改善しなきゃいけないし、いざというとき、本当に使えるかどうかを検証していかなきゃいけないというふうに思っております。

次に、（５）の、同じく販売価格ですが、この秋の５キロのお米の値段、９月末までの備蓄米の

販売継続、スーパーでは、輸入米のカリフォルニア米の2,000円台の販売がなされております。それから、24年度産の在庫の売り切れで3,000円台の商品、それから、この秋、今出ております新米の4,000円台の商品と3つの価格帯というふうにスーパーなどで販売されております。今回、品数も、量的にも、昨年のような棚からなくなるということはないと考えております。また、消費者も選べる価格、量が出ると思います。

糸魚川市において、生産地ということで、ぜひお勧めしたいのが、糸魚川市にあるコイン精米を利用して、30キロの玄米を買い、白米にすることで、かなり価格が抑えられます。

ちなみに、30キロ、例えば1万8,000トン、その玄米を白米にするには、1割の糠が出ます。白米、1割糠が出たとして、白米27キロになります。計算すると、5キロで3,400円ほどになり、今、出回っている4,000円台の新米よりも遥かにお手頃になります。

J Aでも、毎月、玄米でも白米でも連絡すれば届けてもらえますし、高齢者の方々には、このサービスを利用してもらえればよいというふうに思っております。お互いにメリットがあり、物価高騰の中、市でも高齢者向けに販売促進、J Aと一緒にやってできないか、その辺をお伺いしたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

お米の販売ということになりますと、やはりそれぞれの卸の方がおられます。交流があるかと思っています。

また、購入される方の状況というのも違いますので、それぞれやはり需要と供給の部分でどういう形で販売するのか、どういう形で購入するのかということは、それぞれ売手側、また消費者のほうで考えていただくことになるかと思いますが、市といたしましては、引き続き関係機関と連携いたしまして、やはり糸魚川産のお米の消費の拡大というのは、やはり生産者にとって一番大事なことだというふうに考えておりますので、市といたしましても糸魚川産のお米の消費の拡大という部分につきまして、これからも努力してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

昨年、J Aのほうでも、何も、米がなくなったという事態もありますので、その辺、打合せのほうをお願いしたいというふうに思います。

それから次、（5）の農家の所得の補償です。

今年の価格帯を維持してもらうことが一番所得につながります。農家の直接支払う個別補償という声も上がっていますが、それよりも区画整備、土地の集約を行い、市としても効率的な作業になるように進めてもらうことが、さらなる所得アップにつながるというふうに思っております。よろ

しく願います。

市長に伺いたんですが、農業所得について、今後、かなりの量が、米が出てきます。今まで減反政策で水田をエダマメや大豆、小麦に転作して栽培していた土地が、また、水田に復活させるため、来年度以降、米の価格はまた変動すると思います。

農家としてみれば、安定価格を望みますが、難しく、政府が一定の価格を保証してもらえればというふうに思っていますし、安定価格の維持のためには、県並びに国に対して、糸魚川市として要望してもらいたいと思いますが、市長、要望のほうをお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

まず、米の供給安定という部分を前提に考えますと、供給安定するためには、作付面積を増やすとか、また、その辺は農家さんの努力が必要になってくると思います。だから、努力に見合うだけの、やっぱり補償というのは必要になってくると思います。

前回、6月と今回8月に、直接、農林水産副大臣のほうに要望書も携えて行ってまいりまして、当市の状況、そして全県的な状況、二度にわたって要望を出しておりますので、それらについて、非常に時間もつくっていただきまして、対応していただいたということをご報告申し上げます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

また、ぜひお願いしたいと思います。この都市部との賃金格差を埋めるためには、本当に今、農業に特化して、この値段を維持することが、本当に都市部との賃金格差を埋める条件があるんじゃないかというふうに思っておりますので、ぜひよろしくお願いします。

次に、後継者の問題ですが、将来にわたって続けてもらうためには、一番大切で、米の価格が上がっている今こそ、強く進めてもらいたいというふうに思います。農業生産法人、また、協同組合組織、個人農家など、後継者問題をいかに考えているかお伺いしたいと思います。いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

当市の農業を維持・発展させるための、やはり最重要課題と捉えております。第3次糸魚川総合計画の中でも、やはり人口減対策と、住み続けなくなるまちづくりの重点課題の対応策としても、引き続き担い手の確保、農地の維持ということは行っていかなければならないと思いますので、引き続き担い手の確保には、努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

農家が継続する、増産するにしても、法人組織、組合でも同じですが、機械の設備投資が一番大変です。物価高による生産コストの上昇、高額となった農業機械が購入できず、離農する生産者が増えています。これらを救済する対策で、県内の事例を紹介しますと、まず、南魚沼市では、農業用機械整備支援事業補助金、また魚沼市では、農業用機械設備導入事業があり、いずれも補助対象、農業機械、農業用パイプハウスの対象経費で10分の2、20%以内、上限200万で、経営面積5ヘクタール以上、小規模経営者2名以上で、機械を共同購入する場合、中山間地域直接支払制度の協定集落、また、50万円以上の中古品も対象とするなど、条件で補助金を出しており、好評と聞いております。

また、増産、継続する上で、水田の整備、畦畔の補修などに充てられる補助金の制度も必要であり、今現在5ヘクタール以上が条件ですが、なかなか皆さんまとまらず、条件を緩和してもらい、例えば小さい2枚の田んぼを1枚にするとか、3枚を大きな水田にするとか、大型機械が入れるように整備ができるよう補助金などを考えてもらいたいと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

水田の整備ですとか畦畔の補修などにつきましては、地域の多様なニーズに応じました、きめ細やかな耕作条件の改善を支援する補助事業というのもございますので、今後、そうした事業希望される皆様の声を聞きながら、これからも地域に最も適した、その支援策ですね、そうしたものがどういうものなのか、生産者の皆様と一緒に協議、検討してまいりたいというふうに考えております。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

ぜひよろしくお願いします。

農業の最後になりますが、今年が農業をもう一度考え直す大切な年と思います。生産者と消費者がお互いに納得できる価格が維持できるよう、県・国に働きかけてもらいたいというふうに思います。よろしくお願いします。

次に、2、（仮称）駅北子育て支援複合施設整備予定地の既存ビル解体の件ですが、入札で、落札していないので、これは深く追求することできませんが、1回目から5回目までの東北電力ビルをみの解体入札、また今回、宮田ビルを含めた形となった6回目の入札でのごことで整理したいというふうに思います。

入札に関して、専門である建設課、また、都市政策課も、この入札に関して協力しているのかどうか、その辺をちょっとお聞きします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

入札のそういった設計等に関しましては、やはりこども課の事務職員だけでは対応し切れない部分もございますので、そういった建築の専門の都市政策課の職員からも協力をしていただいているところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

まず、入札1回目から5回目まで、解体設計が5年度予算で750万円計上されています。5年度までに447万7,000円の支払いがなされている計算ですが、これで間違いないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、令和5年度予算に旧東北電力ビルの解体設計のほうを出させていただきまして、5年度に447万7,000円のお支払いをさせていただいているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

1回目から5回目では解体設計がなされて、設計会社にこの金額を支払いするということになっております。それから、解体設計が5回不調となり、これにはですね、不調となった原因に物価高の上昇や労務費の上昇など、正確に入れられているのか、その辺ちょっとお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

設計書の作成に当たっては、私どもの技師が担当しております。設計に当たって見積りを徴収す

るもの、期限が切れたものについては、その都度、見積りを取り直しまして、そのときの実勢価格に基づいた設計を行っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

6回目の解体入札において、旧宮田ビルの解体設計を依頼していないという考えております。これは性能発注方式に変えたためだということなんですが、理屈から考えると、解体設計をして入札に臨むというのが普通じゃないかというふうに思っておりますので、この解体設計、東北電力ビルは解体設計をして進めた、宮田ビルは、それをしないで進めて、それは性能発注方式に切り替えたからというふうに言ってるんですが、入札をやるんだったら同じ解体設計を出してからやるべきと思いますが、その辺はいかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

先ほど田中議員の答弁の中でも回答させていただきましたけども、5回の不調を踏まえた上で6回目どうするかという形で性能発注方式を取らせていただいております。私ども設計した内容で、解体自体は、非常に業者によっていろいろな壊し方があります。専門性の高いものというふうに私どもも認識しておりますので、業者さんによっていろいろ工夫のできる内容工種だと思っております。性能発注方式によって、業者さんから設計、もしくは実施、解体工事ですね、それをご提案いただいて設計書を作るといった方式で、今回6回目を行ったものでございます。実際に複数の事業者さんから見積りをご提案いただいて、その内容について確認をした上で設計書、仕様書等を作っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

このビルが3階建てということで、一等地に、糸魚川では一等地に入るというふうに考えております。この3階建てのビルを壊すに当たっては、かなりの熟練の作業がいるというふうに思っておりますので、この辺の加味して、解体設計、解体を進めてもらいたいというふうに思っております。

それから、今回6回目の金額は2億5,000万、予定価格ですが。これ、予算確定して、私どもも早く解体を進めてもらいたいというふうに言っておりました。その後、入札選定委員会により、その方たちの意見等ありましたら、その辺、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

予算額として、債務負担行為のほうも含めて2億5,000万円ということで、予算のほう、議会のほうからお認めいただいたところでありますけども、その後、入札選定委員会のほうに、今回、性能発注で実施するということを説明し、了承されたというふうに、私、選定委員会自体には出席しておりませんが、了承されたというふうに聞いております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

ぜひとも一緒になって進めてもらいたいというふうに思っています。

それから、次回、7回目の入札は、いつ頃を予定しているのか。これは本当に大丈夫か、危機感を持って臨んでももらいたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

まだ、いつということを含めてちょっとお話はできませんけれども、現在、庁内でどういう対応するかということを検討しているところでございまして、議員おっしゃるとおり、危機感を持って事業者のほうが決まるように取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

次のスケジュールの件なんですけど、当初、今年の10月に解体が始まるとされていました。これが、仮に3か月延びるとした場合、令和8年1月より解体工事がスタートして、最大18か月かかり、それから広場整備、国のほうには11年4月1日までの期限ですが、隣のビルの解体も含めて3棟、解体、間に合うかどうか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

既存ビルの解体と、今ご提案しております汎用性のある広場の整備、それを含めて令和10年度中、11年の3月までということで、国のほうに今計画期間として提出をしているような形になっ

ておりますので、その期間内に補助金が受けられるように取り組んでいきたいと思っております。
まだ汎用性のある広場も、こういったものというところが金額的・規模的なものも含めてきっちりと固まっているわけではございませんので、その中で、整備期間についても若干の余裕といえますか、変動はあるかなと思っておりますので、そういった中でしっかり調整ができるようにしていきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

これは、あってはならないというふうに思っていますが、最悪、この期間に間に合わなかった場合、国に対してどのぐらい返還しなければならないか、計算できるでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

間に合わない場合の返還ということで、ちょっとなかなか難しいところあるんですけども、今の提案中の広場を含めた事業を、もうその期間が間に合わないので中止したという場合でということになるかなと思っておりますけれども、現時点で令和6年度までの国庫補助金の確定済額が4,700万円ほどということで、以前、特別委員会等のほうにもお示ししたかと思っておりますが、それについては返還をしていかなければいけないことになるかなというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

一刻も早い解体、前に進めてもらいたいというふうに思います。

それから、次の（4）ですね、LINEなどで事前に意見を聞くのも大切ですし、今回8月29日にヒスイ王国館で、駅北子育て支援複合施設整備の見直しで市長との懇談会がありました。その中で、大町の方から、ビルの上から、昨年、窓ガラスが落ちてきたとか、隣のビルの4階の柵が、かしがっているなど、不安の声が上げられておりました。被害が出ないように一刻も早い解体を進めていかななくてはならないと思いますし、お願いしたいというふうに思います。

また、そのほかの意見として、整備の見直しで、広場は美山でよいのではないかな。また、近隣の住宅への騒音の問題。駅北には駐車場が少ない。土日の夕方、中高生が多く、市外の方も来ている。その辺も考えてもらいたい。広場の内容を見ると、図面等を見ると、トイレは道路の反対側の海望公園にもあり、水遊びは西側の手こぎ井戸の水遊びの場があり、同じものが計画されているという

意見がありました。これから、あるものを利活用して、できる場所にしてもらいたいというふうに意見もありました。とにかく市内の価値ある場所ですので、まず更地にして、違うものを考えたらよいのではないかという意見。また、道の駅という意見もありました。このような考えもできるのではないかというふうに思っております。

市長、この懇談会の意見をいかにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

8月29日につきましては、今までこちらのほうから出向いて行って、各地区の方々と、代表者の方々と話した中において、その延長で、今回広く市民の皆様にとということで、対応させていただきました。

伺った意見については、その時点で回答できたものと、これから我々もその意見を踏まえて対応しなきゃいけないものというふうにして考えておる中で、担当課とこの意見をきちんと集約しながら進めていく。それは、また10月に向けて、これからのお示しする中身にも組み入れていきたいというふうに思っております。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

（5）の協定を結んだ4事業者のほかに、選定委員会による公開プレゼンテーションとヒアリングが実施されております。この選定委員会の方々へも丁寧な説明が必要と思いますが、ぜひお願いしたいというふうに思います。

まず、地域住民のために、ぜひ解体のほうを早く進めてもらいたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

次に、防災力について。

市長にお伺いしたいんですが、市長の公約の中に防災対策の充実をさせる、災害時の高齢者の支援体制を構築していきますというふうにあります。具体的にどのように進めていくか、具体策があればお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

今、利根川議員のほうからお話いただきました、特に高齢者についてということになりますと、私自身が寺島という地区の区長を経験した中において、高齢者対策については、区民と色々なお話をさせていただき、そして、そのものを消防本部のほうと、高齢者について、今後どういう対策を取ればいいのか。まず、各家庭の中で高齢者について、きちっと防災の話をする、また避難

の話をした上で、それらを集約して、区民の皆さんから、うちではこういう形という部分で意見集約まで取りそろえながら対応してきました。それが今度、消防本部のほうで、そういう意見を集約した中で、糸魚川市としての高齢者の在り方が考えられると思います。

また、避難所ではなくて、いわゆる何ていいますか、施設のほうに移動させていくという手段も新たにまたできてきましたので、その辺も含めて、高齢者対策については、複合的な対策が講じられるものと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

能登半島の地震も、高齢者の避難が一番の課題でした。今後、建物の耐震化、家具の固定化、付添人の確保と、特に独り暮らしの高齢者の場合などによく話し合って、決めて、進めてもらいたいというふうに思います。よろしくお願いします。

それから、この8月30日の防災訓練で、能生中学校で実戦練習を見学しました。体育館には移動式エアコンが2台稼働しておりました。この暑さのため、ほかの避難所も体育館など必要と思いますし、今後の、この移動式エアコンの導入予定など、分かればお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

お答えいたします。

各中学校に2台という形で移動式エアコンのほうを配備させていただいておりますが、国の補助もあり、導入させていただいたところであります。

ただ、暑さ・寒さといった気象条件への対策というのは避難所の課題となってくるので、現在導入いたしました移動式エアコンの様子も聞きながら、また、財政的な課題もございますので、そういった点も含めまして検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

政府も防災・減災対策として力を入れておりますので、ぜひその辺、一緒になって動いてもらいたいというふうに思います。

同じく訓練時にマンホールトイレ、また、障害者トイレの設置がありました。災害時に一番大事だと思いたすのがトイレです。避難者が多くなってしまったとき、女性用と男性用のテントトイレを別々にして準備しておくことが大切だと思います。

また、そのテントの中でも着替えることもできますし、テントトイレを今後さらに増やすべきと

と思いますが、いかがお考えでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

避難所においてトイレの確保というのが、今、全国的にも話題になっておりますし、非常に大切な事象になっております。今回の訓練の際にも上下水道が使えない場合に備えてということで、マンホールトイレ等の展示もさせていただきましたけれども、ご指摘のようなテント式のトイレも含めまして、トイレ数の確保、市長答弁にもありましたが国のガイドラインもございますので、そういうところに向けて取り組んでいるところであるという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

そのほかにダンボールトイレ、また、トイレカーの増車など、増やしてもらいたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

次に、避難所の被災者1人当たりの面積の件ですが、企業の施設を避難場所として借りることができるように、災害協定を結べないかお伺いしたいというふうに思います。いかがでしょう。例えば企業の倉庫なり事務所なりを使わせてもらうとか、その辺の考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

避難所におけます1人当たりの居住面積といったところもガイドラインに沿って目指していきたいところではありますけれども、今ほど議員ご指摘のように、そういったところも含めまして、今まで公共施設を主に指定避難所という形で指定しておりますけれども、地区のご要望もお聞きしながら、そういったところは相談に乗らせていただいて、対応していきたいというふうには考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

よろしくお願いします。

次、（3）山林火災において、今回も四国の徳島、板野町でも山林火災が発生しました。延焼で住宅まで火災が来る場面も見られます。防災の面からも、住宅周りの木を伐採することを考えなければいけないというふうに思っております。住宅の周りなどに杉などが昔から植えております。これを補助金制度を設けて、処理するように進めてもらいたいというふうに思いますが、いかがでし

ようか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

中村消防次長。〔消防次長 中村淳一君登壇〕

○消防次長（中村淳一君）

住宅周りの樹木の伐採処理に係る補助制度といったことですが、現在のところ、そういった制度はございませんで、引き続き、まずは火災を発生させないといった点での予防に努めていくといったことになろうかと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

火災の件で、逆に反対のことを考えると、建物火災が発生して、それが森林に延焼するということも考えられますので、ぜひお願いしたいというふうに思います。よろしくお願いします。

次に、これは事例なんです、長野県中野市の消防団において、林野火災を想定した中山間地域における消防防災ヘリとの連携訓練を実施しており、消防団の災害対応の強化を図っております。ヘリが運ぶタンクに給水する訓練や、林道からの送水訓練も同時にしており、林野火災対応訓練は、糸魚川市でも行ってもらいたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

最後に、災害、防災という観点から、この能登半島地震から多くのことを学ばせてもらいました。初動対応の人員確保と訓練、災害発生時、直後の的確な対応が被害の拡大を防ぎ、生命を守ることに繋がります。

また、子育て世帯に避難訓練、外国の方の多言語対応の防災訓練、ハード面では、災害に備えるためのインフラ整備、体育館などの空調施設の整備、プライバシーに配慮した間仕切りの施設、トイレカー、シャワーカー、太陽光を利用した非常用電源、蓄電池の確保など、備えを万全にしてもらいたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

以上、よろしくお願いします。

質問を終わります。

○議長（古畑浩一君）

以上で、利根川議員の一般質問が終了いたしました。

関連質問なしと認めます。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

保坂議員。〔17番 保坂 悟君登壇〕

○17番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。